

簡単操作と設定変更のしやすさで 店舗移転時のシステム変更にも柔軟に対応



▲店長の山本友子氏

イオンSCへの移転で客層が広がり 来客数・売上げが大幅増

今回の「スーパースター」導入店レポートは、兵庫県朝来市にあるショッピングセンター「イオン和田山」内に、今年の3月19日にオープンした「カラオケスカイ イオン和田山店」(20ルーム)を紹介する。経営母体の(株)シマダは、関西圏を中心にホテル温泉事業、レストラン事業などを手がける。カラオケ事業に関しては「カラオケスカイ」のブランド名で京都府、兵庫県、和歌山県に9店舗を展開している(運営はグループ会社の(株)スカイ企画)。

カラオケスカイ イオン和田山店は、以前はロードサイド立地の単独店「カラオケスカイ 和田山店」として別の場所で営業していたが、同じ市内で営業するイオン和田店のテナントに空きができたことから出店の依頼を受け、和田山店を閉鎖し移転、再スタートを切った。

「以前の店舗は、昼間の集客が弱かった。SC内に移転したことで、買い物客をはじめ、より幅広い客層を取り込むことができました」と、店長の山本友子氏が語るように、移転前は1,500人弱だった月間来客数が3,000人以上に大幅アップ。売上げも移転後は1.5倍を上回るなど、非常

に好調に推移している。また、週末の営業時間帯を朝5時まで延長したことで、深夜利用客もふえているという。

同店舗の最大の売りは、大型プロジェクターを備えた6ルーム(うち3ルームはデュアルモニター)だが、それ以外にもビールや日本酒、焼酎、ウイスキーといったアルコール類の飲み放題メニュー、さらにはソフトクリーム食べ放題といった訴求力の高い施策で、幅広い集客につなげている。

価格改定、飲食メニュー変更、 イオンカードへの対応もスムーズに

同店ではSCへの移転前からスーパースターシリーズのPOSシステムを導入している。移転時には「リーズナブルさを強く訴求するため」(山本店長)価格改定を行ない、また飲食メニューも一部変更したが、POSの設定を変更することで対応でき、オペレーション上の混乱はほとんどなかったという。また、移転に伴って未経験者のスタッフを新規採用したが、「表示がわかりやすく、操作が簡単なので、新しいスタッフもすぐにPOSの操作を覚えました」と山本店長。

さらに、イオンのSC内への移転を機にイオンカードと提携。他のクレジットカードと同様にイオンカードでの支払いを



▲イオンの1階フロアに、この3月にオープンした「カラオケスカイ イオン和田山店」。SCの営業時間は22時までだが、夜間専用出入り口(写真中央の赤い部分)を設けて、深夜営業に対応している

受け付けると同時に、この6月からは現金支払いの利用客でもイオンカードにポイントがたまるシステムをスタートさせたことで、買い物客の取り込みにもさらなる効果をあげている。

「スタッフにとっては、移転前にはなかった新しいポイントシステムを採用されるということで、最初は不安でしたが、こちらもPOSの設定を変更することでスムーズに対応できています」。

また、本社に報告するための売上集計などもわずか数分でできるなど、省力化にも効果をあげている。

スーパースターシリーズは、カラオケスカイの他の店舗でも導入されており、店舗ごとに異なる料金体系や独自の飲食メニューにも柔軟に対応。その使いやすさで高い評価を得ている。



▲移転前から導入しているフロントPOSシステム



▲LIVEDAM STADIUMの大画面デュアルモニターを設置したルームは人気が高い

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、風呂施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ

(株)スターランド
[本社] 静岡県藤枝市青木3-14-1
[東京オフィス] 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21

0120-007-009
FAX▶054-644-5034
URL▶http://www.starland.co.jp